北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

職業実践専門課程　産業デザイン学科（2年制）/ 専門課程　国際産業デザイン学科（3年制）

グラフィックデザイン専攻

教科目	概要	1年次	2年次	3年次
デザイン概論	社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているのか、各種事例研究を通じて理解するとともに、アートとデザインの違い、広告制作をはじめとした何らかの情報伝達を行う際に、クリエイターとして留意すべき点等について学ぶ。	○	○ 3年制のみ	
基礎造形Ⅰ	前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。	○		
基礎造形Ⅱ	平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイディアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。	○		
コンセプトメイキング	モノ・コト作りの根源であるコンセプトの概念とその作り方を体験的な学習で理解し、グループ学習でコンセプトの共有とチームワークの大切さを学ぶ。後半は企画立案から実制作まで実践課題を通じて2年間課題をやり抜くための基礎を身に付ける。	○		
デッサン	過去から今日までの絵画理論から得られた空間認識や稜線と面による構築の意識等の理論を総合的に理解しながら制作することで、構造化された理論と技術との連関が生む相乗効果を最大限に描き出しながら、基本的・本質的なデッサン力を習得する。	○		
グラフィック基礎Ⅰ	各種トレーニング課題を行いながら、様々なデザイン用具の基本的な使い方・デザインの基礎知識を習得し、デザインの魅力や表現する楽しさを体験するとともに、文字情報の扱い方のスキルを身に付ける。	○		
グラフィック基礎Ⅱ	造形要素の特性を把握し、プロポーションやコンポジション、シンメトリー等造形要素がもたらす秩序と配色調和について学ぶ。後半では制作物の目的やターゲット層を意識しながら、前半の学びを応用した課題制作に取り組む。	○		
印刷・レイアウト基礎	単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。	○		
DTP演習Ⅰ	パソコンに慣れ親しみながら、OSやアプリケーション（Illustrator/Photoshop）の操作法・データ管理等の基礎知識を学ぶ。課題制作を通して検定試験合格に必要な知識と技術の習得を目指す。	○		
基礎デザインⅠ	グラフィックデザインの重要な構成要素である「文字」について演習を通して基礎知識から実践まで理解する。文字の歴史やレタリング、タイポグラフィの基礎知識や技術、書体の種類とイメージについて広く学び、フィールドワークでリサーチ力と応用力を身に付ける。	○		
ビジュアル表現	各種画材（水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー）の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。	○		
グラフィック演習	前期で身に付けた基礎的表現力や技術力を更に高め、文字情報の扱い方のスキルアップと制作プロセスの自己管理力向上を目指す。	○		
基礎デザインⅡ	前期で習得した「文字」の基礎知識と技術を踏まえ、基本エレメントを意識したデザインへ展開する。グラフィックデザインにおける記号（単化形成、ピクトグラム、シンボルマーク等）の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し、演習課題を通じて表現力を強化する。	○		
広告デザイン演習Ⅰ	感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。	○		
印刷・レイアウト演習	デジタル入稿による小冊子制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、立体的な構図と効果的な表現を目指す。	○	○ 3年制のみ	
DTP演習Ⅱ	前期に引き続きIllustratorとPhotoshopの操作とデザイン作業を意識したデータ制作を行う。検定試験合格に向けて基礎知識と技術のスキルアップを目指すとともに、習得したスキルを応用できるようにする。	○		
WebデザインⅠ	HTML/CSSを使ったコーディングの基礎を習得する。また、様々なWebサイトに触れ、Webデザインならではの仕組みや特徴を理解し、目的に合ったWebサイトの構成を考える。PCやスマートフォン、タブレット等の様々なデバイスに対応したWebデザインの考え方も学ぶ。	○		
撮影基礎	一眼レフカメラの基本操作と撮影の基礎を学び、各自のクリエイティブワークへ活かす。写真をヴィジュアルとする場合の画面構成や人物の配置、表情の重要性を学びより実践的な表現力を習得する。	○		
パッケージデザインⅠ	市場に出回っているパッケージにはどのような種類（構造・包装材料・印刷方式等）と機能（情報伝達・商品保護・可搬性等）があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。	○		
グラフィック表現テクニック	アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通すことで感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。		○	○
インフォメーションデザイン	コトバだけでは伝わりにくい情報を視覚化することで、より分かりやすく伝えるのがインフォメーションデザインである。この科目では実在する公共の場所を題材とし、情報を視覚化する方法と、情報を整理・編集・レイアウトすることによって効果的に伝達する方法を総合的に学ぶ。		○	○
セールスプロモーション	デザインの基本を習得の上、ポスター・新聞雑誌広告・フライヤー・DM・パッケージなど、様々なジャンルの媒体を使用して、実在する企業との連携を活かしたセールス・プロモーション（販売促進）について学ぶ。		○	○

北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

広告デザイン演習Ⅱ		課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。 広告とは何か？ということを改めてしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。		○	○
DTP演習Ⅲ		制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿を行う。		○	○
DTP演習Ⅳ		1年次で習得した各種デジタルアプリケーションの応用的使い方、卒業制作等大型作品の入稿用データ制作方法、就職活動に用いる作品ファイルの制作等について学ぶ。オフセット方式を主とした印刷に関する知識を深めるとともに、検定試験受験に対応した学習を通じてスキルの定着を目指す。		○	○
WebデザインⅡ		・PC・スマートフォンの画面サイズを意識したバナーを作成する ・IllustratorおよびPhotoshopを使って、PC向け・スマートフォン向けのデザインカンプを作成する ・DTPデザインとWebデザインの違いを知る		○	○
専門技術演習A	ブランディングデザイン	事例をもとに、ブランディングデザインの目的や基本を正しく認知すると共に、課題制作を通じて、それぞれ異なるブランディングの考え方や手順、発信方法について学ぶ。		○ 1科目選択	○ 1科目選択
	アートディレクション	トーン＆マナーの分析・考察・表現を経て、実践課題では任意の企業・商品等を設定して効果的な広告媒体やツールを考察・選定・制作するセールスプロモーション課題、応用課題ではグループワークを交えてイベントの企画立案・ビジュアル制作等、アートディレクターとして必要な考え方を段階的に学ぶ。			
	撮影テクニック	一眼レフカメラの基本操作・撮影方法（シャッタースピード・絞りの設定・操作等）の基礎を習得し、簡易的なライティング・レフ板・自然光の使い方などの撮影技法の応用を学び、広告制作へ使用する写真撮影の実践と写真表現への理解を深める。	○		
専門技術演習B	パッケージデザインⅡ	市場に出回っているパッケージにはどのような種類（構造・材料・印刷方式・表面加工等）があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について、情報伝達・商品保護・販売促進等の観点から考察する。演習課題ではマーケットリサーチ・企画立案・実制作・プレゼンテーションまで行う。	○	○ 1科目選択	○ 1科目選択
	広告プランニング	コピーライティング・セースルプロモーション・キャンペーンプランニング等、広告プランニングの基本的な考え方と総合的なノウハウとテクニックを身に付け、成功へ導くためには誰にどのようなものを届けるのがベストなのか、リーダーシップが取れる人材を育成する。	○		
	シルクスクリーン	水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。	○		
進級制作		一年間の学習で身に付けた専攻の専門知識と技術を集大成した作品を制作する。	○	○ 3年制のみ	
卒業制作		二年間の学習で身に付けた専攻の専門知識と技術を集大成した作品を制作する。		○ 2年制のみ	○
英語		義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。	○		
キャリアプランニングⅠ		自らのキャリア形成について主体的に取り組めるようにするため、キャリアデザインの概念およびデザイン業界の職種とその仕事に対する理解を深める。また、ビジネス能力検定ジョブパス3級受験に向けた学習を通して、職業観の醸成および社会人基礎力の向上を図る。	○		
キャリアプランニングⅡ		就職活動に際し自己をどのようにアピールしていくのが効果的か、具体的な方法を考察しながら、業界のプロとして仕事をする「職業人」となるために求められる要素を自覚するとともに、卒業後の生活設計を具体的にイメージし、ライフデザインプランを立案する。		○ 2年制のみ	○
職業実践演習		自らのキャリアプラン（進路設計）を具体的に推進していくために必要なリサーチ力・プレゼンテーション力等の向上を図ると共に、インターンシップ・企業訪問・面接等の具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力を身に付け、希望する業種・職種への就職達成を目指す。		○ 2年制のみ	○
前期課題制作Ⅰ・Ⅱ		日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして 課題制作を行う。	○	○	○
後期課題制作Ⅰ・Ⅱ		日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび進級制作や卒業制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。	○	○	○
総履修時間			1,200	1,200	1,200

取得目標資格	在学時：Illustratorクリエイター能力認定試験、Photoshopクリエイター能力認定試験、色彩士検定、ビジネス能力検定ジョブパスなど

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間、3年間で3,600単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専門課程　産業デザイン学科 グラフィックデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次・学期	授業時数
	必修	選択		
デザイン概論	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅰ	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅱ	○		1年・後期	30
コンセプトメイキング	○		1年・前期	60
デッサン	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅰ	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅱ	○		1年・前期	60
印刷・レイアウト基礎	○		1年・前期	60
DTP演習Ⅰ	○		1年・前期	60
基礎デザインⅠ	○		1年・前期	60
ビジュアル表現	○		1年・前期	60
グラフィック演習	○		1年・後期	60
基礎デザインⅡ	○		1年・後期	30
広告デザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	60
印刷・レイアウト演習	○		1年・後期	60
DTP演習Ⅱ	○		1年・後期	30
WebデザインⅠ	○		1年・後期	30
撮影基礎	○		1年・後期	30
パッケージデザインⅠ	○		1年・後期	30
グラフィック表現テクニック	○		2年・前期	60
インフォメーションデザイン	○		2年・前期	60
セールスプロモーション	○		2年・前期	60
広告デザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅲ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅳ	○		2年・前期	60
WebデザインⅡ	○		2年・前期	60
専門技術演習Ａ				
ブランディングデザイン		○	2年・前期	60
アートディレクション				
撮影テクニック				
専門技術演習Ｂ				
パッケージデザインⅡ		○	2年・前期	60
広告プランニング				
シルクスクリーン				
英語	○		1年・前期	30
合　計				1470

学校名	北海道芸術デザイン専門学校
設置者名	学校法人　美専学園

○成績管理の実施及び公表の概要

１．授業計画書の作成・公表に係る取組の概要	
■授業計画の作成 ・各教科指導担当教員がシラバスを作成し教務部へ提出。 ・シラバス記載内容：指導担当者と実務経験/授業概要/到達目標/授業計画/評価方法/履修上の留意点等。 ・シラバスは、以下の PDCA サイクルに基づき策定。 １月：教育課程編成委員会で各専攻教育課程試案を提示、外部委員と意見交換。３月：新年度教育課程に基づいて各教科の指導内容等を協議・確認する講師会議を実施。８月：教育課程編成委員会で運用中の教育課程について状況を報告し、助言を踏まえ必要に応じ改善を実施。 ■授業計画の公表 各専攻の教科目概要･シラバス･実務経験のある教員等による授業科目の一覧を本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開	
授業計画書の公表方法	本校 web サイトの各専攻紹介ページで公開
２．授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要	
学則第 12 条・13 条に基づき以下の方法で認定。 ■各教科の履修認定 ・到達目標に対する達成度/出席状況/課題提出状況を総合的に勘案。 ・評価方法等は入学後のクラスオリエンテーションで各担任が学生へ周知。 ・各教科の評定等は成績表に記載し、学期末に保護者へ送付。 ■進級の認定 ・進級制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、進級要件を満たしているか認定会議で判定。	
３．客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要	
■客観的な指標の設定・公表 ・履修科目の５段階の成績評価をつぎの配点で GP（ポイント）化する。 秀→5.0 優→4.0 良→3.0 可→2.0　不可→1.0 GPA は次の計算式に従い算出する。 GPA＝(GP×科目の単位数)/履修科目の単位数の合計 ※不可・不合格と判定されたり履修を中止した授業科目は GP＝1.0 とする。 ■成績評価の適切な実施に係る取組 ・成績管理システムで上記 GPA 算出式による GPA 帳票出力を行う ・GPA 帳票により成績分布状況を的確に把握し、期末時に指導可能な体制を整備	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校 web サイトにて公開
４．卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要	
卒業認定の方針 ・卒業制作作品に専攻の特性が活かされているか、在学期間中の集大成としてふさわしい成果物かどうか、各専攻の最終審査に基づき合否を判定。出席率・卒業制作以外の課題提出状況等、他の要件も勘案し卒業を認定。 ■卒業の認定に係る取組 ・卒業制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、卒業要件を満たしているか認定会議で判定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校 web サイトにて公開

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **デザイン概論**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているのか、各種事例研究を通じて理解するとともに、アートとデザインの違い、広告制作をはじめとした何らかの情報伝達を行う際に、クリエイターとして留意すべき点等について学ぶ。

■到達目標:
1:社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているか理解している。
2:課題制作において「誰に」「何を」「どう伝えるか」を意識して取り組むことができる。
3:リサーチやブレーンストーミング・プレゼンテーションなど、他者との協働による作業ができる。

■授業計画:

第1回　ガイダンス、デザインの代表的な分野・領域
第2回　デザインとアート、情報の伝達
第3回　広告とは（新聞広告等を用いた事例研究）
第4回　企画とは（アイディアを出すための視点）
第5回　グループワーク①（第三者へモノ・コトの魅力を伝える）
第6回　グループワーク①（第三者へモノ・コトの魅力を伝える）
第7回　グループワーク①（プレゼンテーション・講評）
第8回　関係性の可視化（視点の動かし方、他者の視点を知る）
第9回　関係性の可視化（視点の動かし方、他者の視点を知る）
第10回　関係性の可視化（プレゼンテーション・講評）
第11回　グループワーク②（作業マニュアル作り）
第12回　グループワーク②（作業マニュアル作り）
第13回　グループワーク②（プレゼンテーション・講評）
第14回　グループワーク②（フラッシュアップ）
第15回　グループワーク②（フラッシュアップ）

■教科書:
■参考書: 現代デザイン事典、図とイラストで伝わるデザイン
■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。
■関連科目:
■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 新明　史子　（非常勤講師）
実務経験: オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名　:　基礎造形Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。

■到達目標:
1:色彩士検定取得に向けて、演習を通して色彩理論の基礎が身に付いている。
2:色彩及び構成の基礎を学び、用途やデザインに適した配色が出来る。
3:積極的に課題に取り組み、より完成度の高い作品を目指す向上心を発揮できる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション・色彩の基礎①（色の成り立ち・混色）
第2回　色彩の基礎②－1（色の三属性・色相環）
第3回　色彩の基礎②－2（色の三属性・色相環）
第4回　色彩の基礎③（PCCSトーン）
第5回　色彩の基礎④（明度・彩度とPCCSトーン）
第6回　色彩の基礎⑤（対比効果）
第7回　色彩の基礎⑥（視認性・色の連想とイメージ）
第8回　配色の研究（実例リサーチ）
第9回　色彩と表現①（感情・季節感の表現）
第10回　色彩と表現②（感情・季節感の表現）
第11回　色彩と構成①（パターンデザイン）
第12回　色彩と構成②（パターンデザイン）
第13回　色彩と構成③（パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン）
第14回　色彩と構成④（パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン）
第15回　色彩と構成⑤（パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン）

■教科書: カラーマスターBASIC　配色カード158b
■参考書: 配色デザイン見本帳
■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。
■関連科目:
■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 新明　史子　（非常勤講師）
実務経験: オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名　:　基礎造形Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイディアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。

■到達目標:
1:紙の基本的な加工方法・紙の目・厚さ・種類等の特性を知り適切な紙を選べる。
2:オリジナルの本作りを通して企画力・表現力を高め、基本的な製本技術を理解している。
3:もの作りの本質を考え、表現の幅を広げながら丁寧な手作業が出来る。

■授業計画:

第1回	紙の造形①（モビール）
第2回	紙の造形①（モビール）
第3回	紙の造形②（カードデザイン）
第4回	紙の造形②（カードデザイン）
第5回	紙の造形②（カードデザイン）
第6回	造本（文庫本のハードカバー製本）
第7回	造本（和綴じ・折帖）
第8回	ブックデザイン①（紙を活かした視覚的に美しいデザインの本を考える）
第9回	ブックデザイン②（ページ数・大きさ・製本方法等を考え試作を作る）
第10回	ブックデザイン③（試作をもとに本文を制作）
第11回	ブックデザイン④（試作をもとに本文を制作）
第12回	ブックデザイン⑤（試作をもとに本文を制作）
第13回	ブックデザイン⑥（美しさと強度を両立させた製本）
第14回	ブックデザイン⑦（美しさと強度を両立させた製本）
第15回	プレゼンテーション、講評

■教科書: デザイナーズハンドブック

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 後藤　精二　（非常勤講師）
実務経験: 広告代理店で、広告のデザイン・アートディレクション・TVCMプロデュース等を担当したのち、広告制作会社を経営。

科目名　:　コンセプトメイキング

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １ 年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０ 時間
単　　位: ２ 単位

■科目概要: モノ・コト作りの根源であるコンセプトの概念とその作り方を体験的な学習で理解し、グループ学習でコンセプトの共有とチームワークの大切さを学ぶ。後半は企画立案から実制作まで実践課題を通じて2年間課題をやり抜くための基礎を身に付ける。

■到達目標:
1:デザインとは何か？を理解している。
2:デザインに不可欠な論理的思考とコンセプトメイキングを理解している。
3:論理の見える化と表現のアイディア化（5W1H）ができる。
4:グループ討論の中で結論に至る合意形成や協調性を身に付けている。
5:プレゼンテーションを通じて、発表・自己表現・コミュニケーションができる。

■授業計画:

第1回　概念の理解（デザインとは何か？コンセプトメイキングとは何か？）
第2回　広告コンセプトの発見と理解①
第3回　コンセプトの発見と理解（フィールドワーク）
第4回　コンセプトの発見と理解（コンセプトチャートの作成）
第5回　コンセプトの発見と理解（プレゼンテーション）
第6回　広告コンセプトの発見と理解②
第7回　広告コンセプトの発見と理解②
第8回　広告表現の基礎知識
第9回　広告表現の基礎知識と応用
第10回　レイアウトの応用
第11回　コンセプトの制作と発想表現（見える化）
第12回　コンセプトの制作と発想表現（見える化）
第13回　コンセプトの制作と発想表現（見える化）
第14回　コンセプトの制作と発想表現（見える化）
第15回　コンセプトの制作と発想表現（見える化）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 中原　宣孝　（非常勤講師）
実務経験: 美術研究所を主催し、各種画材の研究開発および大学・高校・各種スクール等で美術の実技指導に携わっている。日本美術科連盟会員・大学美術教育学会会員。

科目名　:　デッサン

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 過去から今日までの絵画理論から得られた空間認識や稜線と面による構築の意識等の理論を総合的に理解しながら制作することで、構造化された理論と技術との連関が生む相乗効果を最大限に描き出しながら、基本的・本質的なデッサン力を習得する。

■到達目標:
1：量感、質感、空間感、プロポーションなどによる自然で的確な表現がどのようにしたら可能であるかの理論的な裏付けを認識して製作できる。
2：表現力の幅を広げ各自が追求したい表現スタイルを深めていくことができる。
3：グラフィックデザイナーとして求められるカンプ作成能力が身に付いている。

■授業計画:

第1回　絵画理論（線遠近法・透視図法・重畳法・空気遠近法、稜線と麺による構築、空間感）

第2回　基本構造の静物①（構図・プロポーションの取り方・面による量感の構築・コントラストによる空間感の描出・透視図法・質感の出し方）

第3回　基本構造の静物①（構図・プロポーションの取り方・面による量感の構築・コントラストによる空間感の描出・透視図法・質感の出し方）

第4回　基本構造の静物①（構図・プロポーションの取り方・面による量感の構築・コントラストによる空間感の描出・透視図法・質感の出し方）

第5回　基本構造の静物①（構図・プロポーションの取り方・面による量感の構築・コントラストによる空間感の描出・透視図法・質感の出し方）

第6回　基本構造の静物①（構図・プロポーションの取り方・面による量感の構築・コントラストによる空間感の描出・透視図法・質感の出し方）

第7回　人体解剖学（人体構造の基礎知識・表現法、構図・プロポーション・ムーヴマン）

第8回　静物クロッキー①（モチーフの構成力・構図・プロポーション・量感・コントラスト）

第9回　基本構造の静物②（構図・プロポーション・透視図法・楕円・面と量感・コントラスト）

第10回　基本構造の静物②（構図・プロポーション・透視図法・楕円・面と量感・コントラスト）

第11回　基本構造の静物②（構図・プロポーション・透視図法・楕円・面と量感・コントラスト）

第12回　静物クロッキー②（モチーフの構成力・構図・プロポーション・量感・コントラスト）

第13回　裸婦デッサン（人体構造の理解と表現法）

第14回　色画用紙に描く静物（白色鉛筆を用いて明度を挙げる表現の理論と技法）

第15回　色画用紙に描く静物（白色鉛筆を用いて明度を挙げる表現の理論と技法）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 山本　睦子　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名　：　グラフィック基礎Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 各種トレーニング課題を行いながら、様々なデザイン用具の基本的な使い方・デザインの基礎知識を習得し、デザインの魅力や表現する楽しさを体験するとともに、文字情報の扱い方のスキルを身に付ける。

■到達目標: 1:情報やメッセージを伝える方法を3点以上発想することができ、アイディアを可視化することができる。
2:デザインを表現、定着させるための基礎的手作業を行うことができる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション
第2回　デザイン道具を使ってみる①（ペーパークラフトによるアドカーの制作）
第3回　デザイン道具を使ってみる②（コラージュによる平面構成）
第4回　デザインの基礎知識にふれる（コラージュによる平面構成）
第5回　デザインの基礎知識にふれる（コラージュによる平面構成）
第6回　基礎的表現力と技術力をつける①（図形と色をモチーフに使った小型絵本制作）
第7回　基礎的表現力と技術力をつける①（図形と色をモチーフに使った小型絵本制作）
第8回　基礎的表現力と技術力をつける①（図形と色をモチーフに使った小型絵本制作）
第9回　基礎的表現力と技術力をつける①（図形と色をモチーフに使った小型絵本制作）
第10回　プレゼンテーション、講評
第11回　基礎的表現力と技術力をつける②（文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作
第12回　基礎的表現力と技術力をつける②（文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作
第13回　基礎的表現力と技術力をつける②（文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作
第14回　基礎的表現力と技術力をつける②（文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作
第15回　プレゼンテーション、講評

■教科書: デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 堀　じゅん子　（非常勤講師）
実務経験: グラフィックデザイナー・イラストレーターとして広告代理店に勤務後独立し、デザイン制作会社紹

科目名　:　グラフィック基礎Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 造形要素の特性を把握し、プロポーションやコンポジション、シンメトリー等造形要素がもたらす秩序と配色調和について学ぶ。後半では制作物の目的やターゲット層を意識しながら、前半の学びを応用した課題制作に取り組む。

■到達目標:
1:点線面など造形の基本的な構成要素について理解している。
2:黄金比を活用した面分割による画面構成の効果について理解している。
3:与えられたテーマについて、目的や伝える相手を意識しながらイメージを可視化する方法を工夫出来る。
4:制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる。

■授業計画:

第1回	構成の要素①（点・線による構成）
第2回	構成の要素①（点・線による構成）
第3回	構成の要素②（面による構成）
第4回	構成の要素②（面による構成）
第5回	構成の秩序（リズムとルール）
第6回	構成の秩序（リズムとルール）
第7回	イメージの可視化（ポスター制作）
第8回	イメージの可視化（ポスター制作）
第9回	イメージの可視化（ポスター制作）
第10回	クライアントワーク①（コンペ課題A）
第11回	クライアントワーク①（コンペ課題A）
第12回	PRポスター（コンペ課題B）
第13回	PRポスター（コンペ課題B）
第14回	PRポスター（コンペ課題B）
第15回	PRポスター（コンペ課題B）

■教科書:

■参考書: 構成学のデザイントレーニング、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 佐々木　律子　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社でグラフィックデザイナーとして広告や雑誌制作に従事したのち独立。主に雑誌媒体のエディトリアルデザインに携わっている。

科目名　:　印刷・レイアウト基礎

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。

■到達目標:
1:ビジュアルと文字を組み合わせながら、全体をバランス良く配置できる。
2:印刷の基礎知識を身に付けると共に、印刷物制作のワークフロー・係るスタッフの関係性を理解している。
3:必要に応じてアプリケーションを選択し、アナログ作業も活かしたデザインができる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション、自己紹介・イメージトレーニング
第2回　印刷概論　レイアウト基礎①（1C印刷による名刺）
第3回　印刷概論　レイアウト基礎①（1C印刷による名刺）
第4回　印刷概論　レイアウト基礎②（2C印刷によるポストカード）
第5回　印刷概論　レイアウト基礎②（2C印刷によるポストカード）
第6回　印刷概論　レイアウト基礎②（2C印刷によるポストカード）
第7回　印刷概論　プリンターの機能実習（手差し両面印刷）
第8回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第9回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第10回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第11回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第12回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第13回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第14回　レイアウト基礎③（4C印刷によるCDジャケット・ブックレットディスク面）
第15回　プレゼンテーション、講評

■教科書: デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編
■参考書:
■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。
■関連科目:
■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり　（専任教員）
実務経験: デザインプロダクションでグラフィックデザイナーとしてポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名　:　DTP演習Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: パソコンに慣れ親しみながら、OSやアプリケーション（Illustrator/Photoshop）の操作法・データ管理等の基礎知識を学ぶ。課題制作を通して検定試験合格に必要な知識と技術の習得を目指す。

■到達目標:
1：印刷を前提としたデジタルデータを制作できる。
2：作業手順を段取良く組み立てることができる。
3：第三者が閲覧・操作しても分かりやすいデータ制作・データ管理ができる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション・DTP概論
システム・MacOS・アプリケーション、教室内設備の確認とルール、ネットワーク環境

第2回　DTP概論・Illustrator
新規ドキュメント作成・主要ツールの操作レッスン

第3回　Illustrator/Photoshop
Illustrator基本操作の復習・スキャナ練習・Photoshopでの画像補正・トレース練習

第4回　Illustrator
レイヤー・色設定・各種ツール練習

第5回　Illustrator
グラデーション・パターン設定・オブジェクト合成・クリッピングマスク・線設定・文字設定

第6回　Illustrator
プリントアウトについて（レーザーとインクジェットの違い等）・PDFデータへの変換・出力実習

第7回　Illustrator
文字の扱い（入力・編集・特殊文字・レイアウト・段落スタイル等）と演習

第8回　Illustrator
オブジェクトの効果、印刷・出力用データ作成、トリムマーク、裁ち落とし他

第9回　Illustrator/Photoshop
画像配置（ルール・リンク・埋め込み・トリミング他）、Illustrator機能・操作の復習

第10回　Photoshop
基礎知識・画像解像度・主要ツールの操作レッスン・各機能の演習

第11回　Photoshop
各機能の演習（画像マスク・切り抜き・レタッチ・色補正・調整レイヤー等）

第12回　Photoshop
フィルター機能・作画技法・スキャニング・画像補正・合成・保存

第13回　Photoshop
背景と切り抜き画像との合成演習

第14回　Photoshop/Illusturator
入稿用データ作成（合成画像の配置・レイアウト・文字情報等）

第15回　Photoshop/Illusturator
入稿用データ作成（合成画像の配置・レイアウト・文字情報等）

■教科書:
『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 浅野　里菜　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にポスター・パンフレット・雑誌等の紙媒体を中心に制作業務を担当。

科目名　:　基礎デザインⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: グラフィックデザインの重要な構成要素である「文字」について演習を通して基礎知識から実践まで理解する。文字の歴史やレタリング、タイポグラフィの基礎知識や技術、書体の種類とイメージについて広く学び、フィールドワークでリサーチ力と応用力を身に付ける。

■到達目標:
1:グラフィックデザインによる「文字」の重要性や多様性について理解している。
2:基本的な造形力や書体の選択力を身に付け、タイポグラフィを活かした紙面構成ができる。
3:プレゼンテーションを通じて相手に制作意図を的確に伝えることができる。

■授業計画:

第1回	オリエンテーション・自己表現
第2回	文字・レタリング基礎、レタリング①（和文書体）
第3回	レタリング①（和文書体）、書体イメージの分類と分析
第4回	レタリング②（欧文書体）
第5回	レタリング②（欧文書体）
第6回	タイポグラフィ基礎、タイポグラフィ①（文字あそび）
第7回	タイポグラフィ①（文字あそび）
第8回	タイポグラフィ①（文字あそび）
第9回	タイポグラフィ①（文字あそび）
第10回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）
第11回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）
第12回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）
第13回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）
第14回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）
第15回	タイポグラフィ②（オリジナル書体）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 浅野　ルリ子　（非常勤講師）
実務経験: フリーランスイラストレーターとして、パンフレット・ポスター・装丁等広告物のイラストレーション制作を手掛ける。

科目名　:	ビジュアル表現

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 各種画材（水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー）の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。

■到達目標:
1：画材の基本的な使い方とそれぞれの画材が与える印象を理解している。
2：手作業の持つ面白さや表現の強さを感じ取り、デジタルとは違う魅力を理解している。
3：道具の扱い方や後始末など、丁寧な作業が習慣的にできる。

■授業計画:

第1回　課題①（水彩色鉛筆による表現）
第2回　課題①（水彩色鉛筆による表現）
第3回　課題②（パステルによる表現）
第4回　課題②（パステルによる表現）
第5回　課題②（パステルによる表現）
第6回　課題③（アクリルガッシュによる表現と絵本制作）
第7回　課題③（アクリルガッシュによる表現と絵本制作）
第8回　課題③（アクリルガッシュによる表現と絵本制作）
第9回　課題④（マーカーを用いたキャラクターデザイン）
第10回　課題④（マーカーを用いたキャラクターデザイン）
第11回　課題⑤（紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化）
第12回　課題⑤（紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化）
第13回　課題⑤（紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化）
第14回　課題⑤（紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化）
第15回　課題⑤（紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 山本　睦子　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名　:　グラフィック演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １ 年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０ 時間
単　　位: ２ 単位

■科目概要: 前期で身に付けた基礎的表現力や技術力を更に高め、文字情報の扱い方のスキルアップと制作プロセスの自己管理力向上を目指す。

■到達目標:
1:情報やメッセージを伝達するための工夫ができる。
2:ビジュアル・文字・色彩・レイアウト等を考えデジタル・アナログ両面で定着できる。

■授業計画:

第1回	演習①イベントタイトルロゴの制作
第2回	演習①イベントタイトルロゴの制作
第3回	演習①イベントタイトルロゴの制作
第4回	演習①イベントタイトルロゴの制作
第5回	演習①イベントタイトルロゴの制作
第6回	演習②1コピー1ビジュアルのメッセージポスター制作
第7回	演習②1コピー2ビジュアルのメッセージポスター制作
第8回	演習②1コピー3ビジュアルのメッセージポスター制作
第9回	演習②1コピー4ビジュアルのメッセージポスター制作
第10回	進級制作課題⑥（イベント告知ポスター）
第11回	進級制作課題⑦（イベント告知ポスター）
第12回	進級制作課題⑧（イベント告知ポスター）
第13回	進級制作課題⑨（イベント告知ポスター）
第14回	進級制作課題⑩（イベント告知ポスター）
第15回	進級制作課題⑪（イベント告知ポスター）

■教科書: デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 浅野　里菜　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にポスター・パンフレット・雑誌等の紙媒体を中心に制作業務を担当。

科目名　:　基礎デザインⅡ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 前期で習得した「文字」の基礎知識と技術を踏まえ、基本エレメントを意識したデザインへ展開する。グラフィックデザインにおける記号（単化形成、ピクトグラム、シンボルマーク等）の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し、演習課題を通じて表現力を強化する。

■到達目標:
1:「文字」の基礎知識や柔軟な発想力を発揮し、完成度の高い作品を仕上げられる。
2:プレゼンテーションで相手に制作意図を的確に伝えることが出来る。

■授業計画:

第1回	グラフィックデザインにおける記号（単化形成）
第2回	グラフィックデザインにおける記号（単化形成）
第3回	グラフィックデザインにおける記号（単化形成）
第4回	グラフィックデザインにおける記号（アイコン化）
第5回	グラフィックデザインにおける記号（アイコン化）
第6回	グラフィックデザインにおける記号（アイコン化）
第7回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第8回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第9回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第10回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第11回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第12回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第13回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第14回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）
第15回	シンボルマークとタイポグラフィ表現（オリジナルブランドの企画とロゴの制作）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 木野村　博人　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名　:　広告デザイン演習Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。

■到達目標:
1:コピー・文字情報・色・書体等の細かな作業を丁寧にすることができる。
2:パターンやルールを覚え、どのような環境でも素早く作業を進められる。
3:入稿用データの基本的なルールを理解してDTP作業ができる。

■授業計画:

第1回	企業連携課題:イベント告知ポスター（クライアントによるオリエンテーション）
第2回	企業連携課題:イベント告知ポスター（アイディア出しと打合せ）
第3回	企業連携課題:イベント告知ポスター（実制作）
第4回	企業連携課題:イベント告知ポスター（実制作）
第5回	企業連携課題:イベント告知ポスター（デザインチェック）
第6回	企業連携課題:イベント告知ポスター（デザイン最終チェック）
第7回	企業連携課題:イベント告知ポスター（デザイン最終修正、仕上げ）
第8回	企業連携課題:イベント告知ポスター（プレゼンテーション）
第9回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第10回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第11回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第12回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第13回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第14回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）
第15回	イベントフライヤー制作（ブライダル広告制作）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 佐々木　律子　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社でグラフィックデザイナーとして広告や雑誌制作に従事したのち独立。主に雑誌媒体のエディトリアルデザインに携わっている。

科目名　:　印刷・レイアウト演習

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: デジタル入稿による小冊子制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、立体的な構図と効果的な表現を目指す。

■到達目標:
1:印刷物の制作プロセスを理解しデジタル入稿に必要なスキルが身に付いている。
2:チーム作業を通じて、最後まで責任をもって担当作業に臨むことが出来る。
3:ビジュアルや文字をバランス良くレイアウトできる。
4:クライアントやターゲットに沿った企画立案ができる。

■授業計画:

第1回	演習①広告ツール制作 前期「ビジュアル演習」で制作した立体物を撮影し、広告物のビジュアルに使用
第2回	演習①広告ツール制作
第3回	演習①広告ツール制作
第4回	演習①広告ツール制作
第5回	演習②小冊子制作（チームミーティング）
第6回	演習②小冊子制作（ラフ制作・企画とレイアウトのチェック）
第7回	演習②小冊子制作（情報収集・取材・撮影）
第8回	演習②小冊子制作（情報収集・取材・撮影・データ制作）
第9回	演習②小冊子制作（データ制作・デザインチェック）
第10回	演習②小冊子制作（データ制作・デザインチェック・初校）
第11回	演習②小冊子制作（初校戻し・データ修正）
第12回	演習②小冊子制作（データ修正・チェック・再校）
第13回	演習②小冊子制作（再校戻し・最終修正）
第14回	演習②小冊子制作（最終修正・校正）
第15回	演習②小冊子制作（入稿用データ完成・出力紙とデータを提出）

■教科書: デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり　（専任教員）
実務経験: デザインプロダクションでグラフィックデザイナーとしてポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名　:　DTP演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 前期に引き続きIllustratorとPhotoshopの操作とデザイン作業を意識したデータ制作を行う。検定試験合格に向けて基礎知識と技術のスキルアップを目指すとともに、習得したスキルを応用できるようにする。

■到達目標:
1：進級制作に向けて使用アプリケーションの選択や表現に合わせた作業ができる。
2：セルフチェックしながら入稿データを作成できる。
3：12月の検定試験合格。

■授業計画:

第1回　Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化
第2回　Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化
第3回　Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化
第4回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第5回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第6回　演習課題（画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック）
第7回　演習課題（画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック）
第8回　演習課題（画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック）
第9回　演習課題（画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック）
第10回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第11回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第12回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第13回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第14回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング
第15回　検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング

■教科書:
『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 高橋　朋代　（非常勤講師）
実務経験: Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名　:　Webデザイン Ⅰ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １ 年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０ 時間
単　　位: １ 単位

■科目概要: HTML/CSSを使ったコーディングの基礎を習得する。また、様々なWebサイトに触れ、Webデザインならではの仕組みや特徴を理解し、目的に合ったWebサイトの構成を考える。PCやスマートフォン、タブレット等の様々なデバイスに対応したWebデザインの考え方も学ぶ。

■到達目標:
1：様々なWebサイトに触れ、その目的や仕組み・構成への理解を深める。
2：HTML/CSSコーディングの基礎を理解し、簡単なコーディングが出できる。
3：様々なデバイスの画面サイズや解像度を理解し、PhotoshopでWeb用画像を作成できる。

■授業計画:

第1回	インターネット・Webの仕組み、Webサイトの役割
第2回	HTMLの基本と枠組み
第3回	HTMLのアウトラインと様々なHTMLタグ
第4回	Webサイトでの画像の扱い
第5回	Webサイトの構成と制作の流れ
第6回	Webサイトの構成と制作の流れ
第7回	Webページの装飾とCSSの基本
第8回	Webページの装飾とCSSの基本
第9回	class・id属性を利用したCSS装飾、ボックスモデル
第10回	class・id属性を利用したCSS装飾、ボックスモデル
第11回	様々なCSSプロパティ・テクニック
第12回	様々なCSSプロパティ・テクニック
第13回	マルチデバイス（スマートフォン・タブレット）対応
第14回	マルチデバイス（スマートフォン・タブレット）対応
第15回	Webサイトの公開

■教科書: HTML＆CSS3レッスンブック

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 小森　学　（非常勤講師）
実務経験: カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名　:	撮影基礎

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 一眼レフカメラの基本操作と撮影の基礎を学び、各自のクリエイティブワークへ活かす。写真をヴィジュアルとする場合の画面構成や人物の配置、表情の重要性を学びより実践的な表現力を習得する。

■到達目標:
1:一眼レフカメラの基本操作と簡易的な照明を用いた撮影ができる
2:自分の求めるクリエイティブワークに写真表現を取り入れ表現領域を広げる

■授業計画:

第1回　撮影基礎①（露出・シャッタースピード・絞り）
第2回　撮影基礎②（フレーミング）
第3回　撮影基礎③（人物撮影）
第4回　撮影基礎④（自然光・ストロボ・ランプ・レフ板）
第5回　写真表現①（撮影とPhotoshopを用いたレタッチ）
第6回　写真表現②（商品撮影、ライティング・構成・背景）
第7回　写真表現②（商品撮影とPhotoshopを用いたレタッチ）
第8回　プレゼンテーション、ディスカッション
第9回　写真表現③（人物撮影、スタイリング・背景）
第10回　写真表現③（人物撮影とPhotoshopを用いたレタッチ）
第11回　プレゼンテーション、ディスカッション
第12回　写真表現④（自由撮影）
第13回　写真表現④（自由撮影）
第14回　写真表現④（自由撮影、キャッチコピー・レイアウト）
第15回　プレゼンテーション、ディスカッション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 大手印刷会社の包装開発部門で、ディレクターとして勤務。商品企画およびパッケージデザインのアートディレクションに携わる。JPDA（日本パッケージデザイン協会）会員。

科目名　:　パッケージデザインⅠ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 市場に出回っているパッケージにはどのような種類（構造・包装材料・印刷方式等）と機能（情報伝達・商品保護・可搬性等）があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。

■到達目標:
1：代表的なパッケージの種類について身の回りにある商品から事例を探すことが出来る。
2：パッケージデザインが果たす店頭広告効果、イメージ戦略的効果を理解している。
3：既存商品・競合商品をリサーチし、消費者ニーズを踏まえた商品企画を提案できる。

■授業計画:

第1回　パッケージの種類と機能（事例研究）
第2回　商品企画とデザイン①（マーケットリサーチ）
第3回　商品企画とデザイン②（企画立案）
第4回　商品企画とデザイン③（実制作）
第5回　商品企画とデザイン④（プレゼンテーション）
第6回　地域の商品とデザイン①（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第7回　地域の商品とデザイン②（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第8回　地域の商品とデザイン③（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第9回　地域の商品とデザイン④（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第10回　地域の商品とデザイン⑤（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第11回　地域の商品とデザイン⑥（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第12回　地域の商品とデザイン⑦（コンペ課題：地元企業の商材をもとにパッケージデザインを提
第13回　季節感とデザイン①（企画立案：パターンを用いた店舗用パッケージ）
第14回　季節感とデザイン②（実制作：パターンを用いた店舗用パッケージ）
第15回　季節感とデザイン①（実制作、プレゼンテーション）

■教科書:

■参考書: パッケージデザインの教科書、デザイン歳時記

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 菊地　和広　（非常勤講師）
実務経験: 大手印刷会社・広告代理店・デザインプロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。グラフィックデザイン全般に携わっている。

科目名　：　グラフィック表現テクニック

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通すことで感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。

■到達目標: 1：様々な表現に見る・触れることで、作り手の着眼点を発見できる。
2：オリジナルの表現を作る・見せることで、新たな可能性を引き出すことが出来る。

■授業計画:

第1回　JAGDA学生グランプリ　応募作品制作①（B1ポスター）

第2回　JAGDA学生グランプリ　応募作品制作②

第3回　JAGDA学生グランプリ　応募作品制作③

第4回　JAGDA学生グランプリ　応募作品制作④

第5回　JAGDA学生グランプリ　プレゼンテーション

第6回　学外展示用グラフィック制作（ガリ版作品①）

第7回　学外展示用グラフィック制作（ガリ版作品②）

第8回　学外展示用グラフィック制作（ポスター①）

第9回　学外展示用グラフィック制作（ポスター②）

第10回　学外展示用グラフィック制作（ポスター③）

第11回　学外展示用グラフィック制作（ZINE①）

第12回　学外展示用グラフィック制作（ZINE②）

第13回　学外展示　会場搬入・展示作業

第14回　マイ・ノベルティ制作①（自己を宣伝・アピールする販促ツール）

第15回　マイ・ノベルティ制作②

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 浅野　里菜　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にポスター・パンフレット・雑誌等の紙媒体を中心に制作業務を担当。

科目名　：　インフォメーションデザイン

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: コトバだけでは伝わりにくい情報を視覚化することで、より分かりやすく伝えるのがインフォメーションデザインである。この科目では実在する公共の場所を題材とし、情報を視覚化する方法と、情報を整理・編集・レイアウトすることによって効果的に伝達する方法を総合的に学ぶ。

■到達目標: 1：ダイヤグラム、表、グラフ、ピクトグラム、マップ等の制作を通じて、インフォグラフィックスの手法を習得する。
2：それらの要素を用いた広報物を制作することにより、情報を整理・編集する工夫と方法を理解している。

■授業計画:

第1回　グラフ・ダイヤグラム・ピクトグラム①
インフォグラフィックスとは何か。グラフの作成（カテゴリによってどのグラフが適しているかを考える）

第2回　グラフ・ダイヤグラム・ピクトグラム②
ピクトグラムを使った4コマの作成。（ストーリーに適した表現を考え、全体のデザイントーンの統一を学ぶ）

第3回　グラフ・ダイヤグラム・ピクトグラム③
ピクトグラムを使った4コマの作成。（ストーリーに適した表現を考え、全体のデザイントーンの統一を学ぶ）

第4回　企画と情報収集①
イラストマップのコンセプトメイキング。（情報の収集・構成の方法を学び、取材の方針を立てる）

第5回　企画と情報収集②
現地取材と撮影。

第6回　企画と情報収集③

第7回　ピクトグラムとイラストマップ①
施設全体のイメージ統一を考慮したピクトグラムの制作。

第8回　ピクトグラムとイラストマップ②
施設全体のイメージ統一を考慮したピクトグラムの制作。

第9回　ピクトグラムとイラストマップ③
施設全体のイメージ統一を考慮したピクトグラムの制作。

第10回　ピクトグラムとイラストマップ④
イラストマップの制作。

第11回　ピクトグラムとイラストマップ⑤
イラストマップの制作。

第12回　情報の整理と編集①
パンフレットの編集とレイアウト。

第13回　情報の整理と編集②
パンフレットの編集とレイアウト。

第14回　情報の整理と編集③
パンフレットの編集とレイアウト。

第15回　プレゼンテーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 山本　健二　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作プロダクションでアートディレクターとして各種広告物の制作に従事したのち独立。主に広告の企画・立案・制作全般に携わっている。

科目名　: **セールスプロモーション**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: デザインの基本を習得の上、ポスター・新聞雑誌広告・フライヤー・DM・パッケージなど、様々なジャンルの媒体を使用して、実在する企業との連携を活かしたセールス・プロモーション（販売促進）について学ぶ。

■到達目標: 1：設定したターゲットに向けて発想・表現方法の幅を広げ、各媒体の役割を理解している。
2：人の心（購買意欲）を動かす効果的な仕掛けを考えることが出来る。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション
第2回　課題1：企業連携課題①クライアントによるオリエンテーション
第3回　課題1：企業連携課題②コンセプトの構築
第4回　課題1：企業連携課題③発想と表現
第5回　課題1：企業連携課題④表現の展開
第6回　課題1：企業連携課題⑤展開の集成
第7回　課題1：企業連携課題⑥仕上げ・提出
第8回　課題1：企業連携課題⑦クライアントへのプレゼンテーション
第9回　課題2：キャンペーン企画①テーマ選定
第10回　課題2：キャンペーン企画②コンセプトの構築
第11回　課題2：キャンペーン企画③発想と表現
第12回　課題2：キャンペーン企画④表現の展開
第13回　課題2：キャンペーン企画⑤展開の集成
第14回　課題2：キャンペーン企画⑥仕上げ・提出
第15回　課題2：キャンペーン企画⑦プレゼンテーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 曾澤　浩一　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作会社を経営し、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名　:　広告デザイン演習Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。
広告とは何か？ということを改めてしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。

■到達目標: 1:コピーライティング・タイポグラフィ・撮影等、総合的な広告制作のノウハウやスキルが身に付いている。
2:1つの着地点に対して多面的なアプローチが出来る。

■授業計画:

第1回　課題1:nepiaコラボプロジェクト①（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第2回　課題1:nepiaコラボプロジェクト②（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第3回　課題1:nepiaコラボプロジェクト③（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第4回　課題1:nepiaコラボプロジェクト④（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第5回　課題1:nepiaコラボプロジェクト⑤（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第6回　課題1:nepiaコラボプロジェクト⑥（5個パックパッケージ・B1ポスターの企画制作）
第7回　課題2:地域自治体連携プロジェクト①（クライアントによるオリエンテーション）
第8回　課題2:地域自治体連携プロジェクト②（イベントPRポスターの制作）
第9回　課題2:地域自治体連携プロジェクト③（イベントPRポスターの制作）
第10回　課題2:地域自治体連携プロジェクト④（イベントPRポスターの制作）
第11回　課題2:地域自治体連携プロジェクト⑤（イベントPRポスターの制作）
第12回　課題2:地域自治体連携プロジェクト⑥（イベントPRポスターの制作）
第13回　課題2:地域自治体連携プロジェクト⑦（クライアントへのプレゼンテーション）
第14回　課題3:キャンペーンポスターの制作①
第15回　課題3:キャンペーンポスターの制作②

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 佐々木　律子　（非常勤講師）
実務経験: デザイン会社でグラフィックデザイナーとして広告や雑誌制作に従事したのち独立。主に雑誌媒体のエディトリアルデザインに携わっている。

科目名　:　DTP演習Ⅲ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿を行う。

■到達目標:
1：各アプリケーションの応用技術を身に付け、制作物に応じたソフトの選択ができる。
2：InDesignの基本操作と実践的なフィニッシュワークを理解し、オペレーション出来る。
3：冊子制作の企画立案・取材・協働作業・校正の技術を身に付けている。
4：これまで身に付けた知識と技術を活かし、制作物の完成度を高めることが出来る。

■授業計画:

第1回　アプリケーション基礎①
（InDesignの基本操作・他のアプリケーションとの相違点・DTPのワークフロー）
第2回　アプリケーション基礎②（ドキュメント設定と文字入力）
第3回　アプリケーション基礎③（書式設定とスタイル設定）
第4回　アプリケーション基礎④（画像配置と編集）
第5回　アプリケーション基礎⑤（カラーと効果・オブジェクトの操作）
第6回　アプリケーション基礎⑥（表の制作と応用）
第7回　アプリケーション基礎⑦（復習と入稿時の諸注意点）
第8回　ブックレット制作①（チームミーティング）
第9回　ブックレット制作②（チーム企画立案・ページネーションとタイトル決定）
第10回　ブックレット制作③（実制作作業）
第11回　ブックレット制作④（実制作作業）
第12回　ブックレット制作⑤（データ仕上げ・初校）
第13回　ブックレット制作⑥（校正・データ修正）
第14回　ブックレット制作⑦（再校・データ修正）
第15回　ブックレット制作⑧（アウトライン化・データ確認・入稿データ提出）

■教科書: 世界一わかりやすいInDesign操作とデザインの教科書

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり　（専任教員）
実務経験: デザインプロダクションでグラフィックデザイナーとしてポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名　：　DTP演習Ⅳ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 1年次で習得した各種デジタルアプリケーションの応用的使い方、卒業制作等大型作品の入稿用データ制作方法、就職活動に用いる作品ファイルの制作等について学ぶ。オフセット方式を主とした印刷に関する知識を深めるとともに、検定試験受験に対応した学習を通じてスキルの定着を目指す。

■到達目標:
1：最終形態が印刷物となるデジタルデータについて制作上の注意点をセルフチェックできる。
2：制作物に応じて各種アプリケーションを組み合わせて使うことができる。
3：卒業制作や就職後の業務に対応できる技術力・デザイン力・表現力が身に付いている。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション、コンペ課題（アイディアチェック）
第2回　コンペ課題①（データ制作）、就職活動用ツール制作
第3回　コンペ課題①（データ制作）、就職活動用ツール制作、
第4回　コンペ課題①（データ制作）、就職活動用ツール制作、
第5回　コンペ課題①（データ仕上げ）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第6回　コンペ課題②（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第7回　コンペ課題②（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第8回　コンペ課題②（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第9回　コンペ課題②（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第10回　コンペ課題②（データ仕上げ）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第11回　コンペ課題③（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第12回　コンペ課題③（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第13回　コンペ課題③（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第14回　コンペ課題③（データ制作）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）
第15回　コンペ課題③（データ仕上げ）、検定試験対策（Illustrator/Photoshop）

■教科書:

■参考書:
『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 高橋　朋代　（非常勤講師）
実務経験: Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名　：　Webデザイン Ⅱ

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２ 年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０ 時間
単　　位: ２ 単位

■科目概要:
・PC・スマートフォンの画面サイズを意識したバナーを作成する
・IllustratorおよびPhotoshopを使って、PC向け・スマートフォン向けのデザインカンプを作成する
・DTPデザインとWebデザインの違いを知る

■到達目標:
１：IllustratorおよびPhotoshopでHTML/CSSコーディングに配慮したデザインデータを制作出来る。
２：Webサイトの制作ワークフローを理解し、目的に合わせたデザイン提案ができる。

■授業計画:

第１回　IllustratorによるWebデザインカンプ作成基礎
第２回　Webサイトの画面サイズとグリッドシステム、色表現
第３回　Webデザインフォントの扱いと見出しの作り方
第４回　バナー制作
第５回　ガイドの利用方法と平ぷ作成のコツ
第６回　HTMLの文書構造とCSSの特徴、レスポンシブデザイン
第７回　スマートフォン用デザインカンプ作成
第８回　Webデザインのレイヤー構造
第９回　画像の書き出し
第１０回　Webサイトの背景画像、ベクター形式の画像
第１１回　デザインカンプ課題作成実習①
第１２回　デザインカンプ課題作成実習②
第１３回　デザインカンプ課題作成実習③
第１４回　デザインカンプ課題作成実習④
第１５回　課題提出と講評

■教科書: Webデザイン必携　プロに学ぶ現場の制作ルール８４

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 伊豆倉　靖　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。広告物制作、企業ロゴ等、グラフィックデザイン全般を手掛けている。

科目名　：　専門技術演習A（ブランディングデザイン）

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 事例をもとに、ブランディングデザインの目的や基本を正しく認知すると共に、課題制作を通じて、それぞれ異なるブランディングの考え方や手順、発信方法について学ぶ。

■到達目標:
1：商品やサービスの価値や目的を理解し、魅力的に見せるための企画立案が出来る。
2：柔軟な視点、幅広く表現するための方法を工夫することが出来る。

■授業計画:

第1回　ブランディングデザインとは？
課題1：セルフブランディング①（自己紹介ツールの制作）
第2回　課題1：セルフブランディング②
（自己紹介ツールの仕上げ・提出・プレゼンテーション）
第3回　課題2：REブランディング①（既存の商品やサービスのREブランディング）
第4回　課題2：REブランディング②
第5回　課題3：商品ブランディング①（ネーミング・ロゴ・パッケージ・広告・店舗展開）
第6回　課題3：商品ブランディング②
第7回　課題3：商品ブランディング③
第8回　課題4：ショップブランディング①（ネーミング・ロゴ・ショップツール・DM等）
第9回　課題4：ショップブランディング②
第10回　課題5：トータルブランディング①（連携企業からのオリエンテーション）
第11回　課題5：トータルブランディング②（企画書作成）
第12回　課題5：トータルブランディング③（企画書提出・プレゼンテーション）
第13回　課題5：トータルブランディング④（実制作）
第14回　課題5：トータルブランディング⑤（実制作）
第15回　課題5：トータルブランディング⑥（提出・プレゼンテーション）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 高橋　幸子　（非常勤講師）
実務経験: フリーランスのアートディレクター・グラフィックデザイナー。主にアーティストやバンドのツアーグッズ等の商品企画およびアートディレクション・グラフィックデザインを担当。

科目名　:　専門技術演習A(アートディレクション)

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: トーン＆マナーの分析・考察・表現を経て、実践課題では任意の企業・商品等を設定して効果的な広告媒体やツールを考察・選定・制作するセールスプロモーション課題、応用課題ではグループワークを交えてイベントの企画立案・ビジュアル制作等、アートディレクターとして必要な考え方を段階的に学ぶ。

■到達目標:
1:属性や世界観を伝える際に重要な、トーン&マナーを言語化・可視化することが出来る。
2:クライアントのニーズと多様な広告媒体の特性を理解し、コンセプト・ターゲットに沿ったビジュアルで表現することが出来る。
3:プロジェクトを多面的に捉え、他者に伝えるコミュニケーション力が身に付いている。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション
課題1:自己紹介コラージュ①
第2回　課題1:自己紹介コラージュ②(プレゼンテーション)

第3回　課題2:トーン&マナーの分析・考察・表現(雑誌媒体の表2対向見開き制作①)

第4回　課題2:トーン&マナーの分析・考察・表現(雑誌媒体の表2対向見開き制作②)

第5回　課題2:トーン&マナーの分析・考察・表現(雑誌媒体の表2対向見開き制作③)

第6回　課題3:アートディレクション実践(セールスプロモーション①)

第7回　課題3:アートディレクション実践(セールスプロモーション②)

第8回　課題3:アートディレクション実践(セールスプロモーション③)

第9回　課題3:アートディレクション実践(セールスプロモーション④)

第10回　課題3:アートディレクション実践(セールスプロモーション⑤)

第11回　課題4:アートディレクション応用(イベント企画とプロモーション①)

第12回　課題4:アートディレクション応用(イベント企画とプロモーション②)

第13回　課題4:アートディレクション応用(イベント企画とプロモーション③)

第14回　課題4:アートディレクション応用(イベント企画とプロモーション④)

第15回　課題4:アートディレクション応用(イベント企画とプロモーション⑤)

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 小森　学　（非常勤講師）
実務経験: カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名　:　専門技術演習A(撮影テクニック)

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 一眼レフカメラの基本操作・撮影方法（シャッタースピード・絞りの設定・操作等）の基礎を習得し、簡易的なライティング・レフ板・自然光の使い方などの撮影技法の応用を学び、広告制作へ使用する写真撮影の実践と写真表現への理解を深める。

■到達目標: 1：基本技術を体得し各自のクリエイティブワークへ活かすことが出来る。
2：写真をビジュアルとする場合のシチュエーション・画面構成・人物や商品の配置・表情の重要性を理解し、それらを意識した表現ができる。

■授業計画:

第1回　撮影基礎（カメラの基本操作・フレーミング）

第2回　写真表現実習（基本操作を踏まえた表現およびスローシャッター・流し撮り等の実践）

第3回　ライティング基礎①（ストロボ1灯と各種ディフューザーを使用した効果的なライティング）

第4回　ライティング基礎②（撮影データの適切な作成とPhotoshopでのレタッチ実習）

第5回　ライティング基礎③（多灯ライティングによるライトの役割とその効果、レタッチ実習）

第6回　料理写真撮影（見せ方・シズル感・構成）

第7回　写真表現実習（ストロボ・各種ディフューザーを使用した商品撮影）

第8回　人物撮影基礎（屋外でのレフやストロボを使用したロケーション撮影、背景の選び方）

第9回　人物撮影応用（屋外ロケーションでの人物撮影）

第10回　人物撮影基礎
（スタジオライティングでの人物撮影とモデルとのコミュニケーションの取り方・気遣い）

第11回　人物撮影基礎（撮影データの適切な作成とPhotoshopでのレタッチ実習）

第12回　人物撮影応用（各自のテーマによるスタジオライティングでの人物撮影）

第13回　広告物制作（写真をメインビジュアルとした広告物の制作①）

第14回　広告物制作（写真をメインビジュアルとした広告物の制作②）

第15回　広告物制作（プレゼンテーション・講評）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 大手印刷会社包装開発部門で、ディレクターとして商品企画提案およびパッケージデザインのアートディレクション等を担当

科目名　:　専門技術演習B(パッケージデザインⅡ)

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 市場に出回っているパッケージにはどのような種類（構造・材料・印刷方式・表面加工等）があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について、情報伝達・商品保護・販売促進等の観点から考察する。演習課題ではマーケットリサーチ・企画立案・実制作・プレゼンテーションまで行う。

■到達目標:
1：パッケージの代表的種類とその名称・構造・材料・用途を理解している。
2：パッケージが果たしている情報伝達機能について考察し実際の商品デザインに応用できる。
3：与えられたテーマについて消費者ニーズを踏まえた企画アイディアを立案できる。
4：制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる。

■授業計画:

第１回　オリエンテーション・概論①（パッケージの代表的種類）
第２回　軟包装のデザイン①（情報収集と分析）
第３回　軟包装のデザイン②（企画立案、ラフ案制作）
第４回　軟包装のデザイン③（データおよびダミー制作）
第５回　軟包装のデザイン④（仕上げとプレゼンテーション）
第６回　リニューアルデザイン①（テーマ商品と競合他社についてリサーチ・分析）
第７回　リニューアルデザイン②（デザインコンセプト、ラフ案制作）
第８回　リニューアルデザイン③（データおよびダミー制作）
第９回　リニューアルデザイン④（データおよびダミー制作）
第１０回　リニューアルデザイン⑤（仕上げとプレゼンテーション）
第１１回　概論②（紙器の構造・用紙・展開図・組立・表面加工）
第１２回　紙器のギフト商品企画①（地元商材を活用したギフト商品の企画立案）
第１３回　紙器のギフト商品企画②（図面と試作）
第１４回　紙器のギフト商品企画③（データおよびダミー制作）
第１５回　紙器のギフト商品企画④（仕上げとプレゼンテーション）

■教科書:

■参考書: パッケージデザインマーケティング、箱の設計

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点: どこで、誰が、どんな商品を買っているのか、作り手と消費者をつなぐために必要な情報は何か、売り場へ積極的に足を運び、多くの事例を通して探求し、試行錯誤することを求めます。

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 木野村　博人　（非常勤講師）
実務経験: 広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名　:　専門技術演習B(広告プランニング)

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: コピーライティング・セースルプロモーション・キャンペーンプランニング等、広告プランニングの基本的な考え方と総合的なノウハウとテクニックを身に付け、成功へ導くためには誰にどのようなものを届けるのがベストなのか、リーダーシップが取れる人材を育成する。

■到達目標:
1：アートとデザインの違いを理解し、人に喜んでもらうことの重要性を理解している。
2：一人で作ること、チームで作ることの意味を理解し、話し合いをまとめる力が身に付いている。
3：説得力のある企画書とプレゼン力が身に付いている。
4：従来の物事に捉われない自由な発想ができる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション、グループワーク（様々な広告媒体の特性を考える）
第2回　課題1：商品開発とパッケージ①（チーム会議とアイディア出し）
第3回　課題1：商品開発とパッケージ②（コピーとネーミング）
第4回　課題2：ワンコピー・ワンビジュアル広告①（コピーワーク・アイディア出し）
第5回　課題2：ワンコピー・ワンビジュアル広告②（発想・表現・制作）
第6回　課題2：ワンコピー・ワンビジュアル広告③（仕上げ・提出）
第7回　課題3：新店舗開店に向けた全準備①（アイディア出し・企画書作成）
第8回　課題3：新店舗開店に向けた全準備②（発想・表現・制作）
第9回　課題3：新店舗開店に向けた全準備③（発想・表現・制作）
第10回　課題3：新店舗開店に向けた全準備④（発想・表現・制作）
第11回　課題3：新店舗開店に向けた全準備⑤（仕上げ・提出・プレゼンテーション）
第12回　課題4：新製品発売広告プランニング①（アイディア出し・企画書作成）
第13回　課題4：新製品発売広告プランニング②（発想・表現・制作）
第14回　課題4：新製品発売広告プランニング③（発想・表現・制作）
第15回　課題4：新製品発売広告プランニング④（仕上げ・提出・プレゼンテーション）

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: シルクスクリーン （非常勤講師）
実務経験: デザイン工房を主催し、デザイナーおよび職人として主にサインデザイン・シルクスクリーン印刷等を手掛ける。北海道美術協会・北海道版画協会会員。

科目名 : 専門技術演習B(シルクスクリーン)

履修形態: 選択
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。

■到達目標:
1:リピート性を活かしたオリジナリティーのあるパターンデザインと配色の工夫ができる。
2:グラデーションや版の位置合わせができ、構図や配色のバランスを考えた表現ができる。
3:公募展出品に向け、伸びやかさとオリジナリティーのある表現を工夫できる。

■授業計画:

第1回　オリエンテーション
第2回　課題1:布にパターンを刷る①(手ぬぐいのデザイン・製版準備)
第3回　課題1:布にパターンを刷る②(製版・調色)
第4回　課題1:布にパターンを刷る③(刷り・落版・提出)
第5回　課題2:紙に2色で刷る①(ポストカード)
第6回　課題2:紙に2色で刷る②(ポストカード)
第7回　課題3:紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第8回　課題3:紙に多色で刷る②(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第9回　課題3:紙に多色で刷る③(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第10回　課題3:紙に多色で刷る④(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第11回　課題3:紙に多色で刷る⑤(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第12回　課題3:紙に多色で刷る⑥(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第13回　課題3:紙に多色で刷る⑦(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第14回　課題3:紙に多色で刷る⑧(公募展出品に向けた中型作品の制作)
第15回　課題3:紙に多色で刷る⑨(公募展出品に向けた中型作品の制作)

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科:　産業デザイン学科
対象専攻:　グラフィックデザイン専攻
担当教員:　長谷川　かおり、高橋　美絵　他　　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	進級制作

履修形態:　必修
授業形態:　演習
履修学年:　１年次
開講学期:　後期
授業時数:　１８０時間
単　　位:　６単位

■科目概要:　一年間の学習で身に付けた専攻の専門知識と技術を集大成した作品を制作する。

■到達目標:　一年間の学習の成果が充分に発揮できている作品を完成させる。

■授業計画:

第１回　講師打合せ(1)　各課題の内容を確認し、制作内容を各担当講師と打合せる

第２回　講師打合せ(2)

第３回　講師打合せ(3)

第４回　実制作(1)　打合せ内容に基き作品制作を行う

第５回　実制作(2)

第６回　実制作(3)

第７回　実制作(4)

第８回　実制作(5)

第９回　制作内容確認　中間成果物に対して担当講師による内容確認を受ける

第１０回　ブラッシュアップ(1)

第１１回　ブラッシュアップ(2)

第１２回　ブラッシュアップ(3)

第１３回　ブラッシュアップ(4)

第１４回　プレゼンテーション準備　審査会に向けて発表資料を作成する

第１５回　進級制作審査会　作品のプレゼンテーションを行い作品の評価を受ける

■教科書:

■参考書:

■成績評価:　出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科:　　産業デザイン学科
対象専攻:　　グラフィックデザイン専攻
担当教員:　　長谷川　かおり、高橋　美絵　他　　（専任教員）
実務経験:

科目名　:	卒業制作

履修形態:　　必修
授業形態:　　演習
履修学年:　　２年次
開講学期:　　後期
授業時数:　　４５０時間
単　　位:　　１５単位

■科目概要:　　二年間の学習で身につけた専攻の専門知識と技術の集大成となる作品を制作する。

■到達目標:　　専攻分野の特性を充分に発揮したと社会的に評価されるレベルの作品を完成させる。

■授業計画:

第1回　コンセプトメイキング　作品のターゲットとテーマを設定する

第2回　講師打合せ　担当講師と制作内容を確認

第3回　一次審査提出作品制作(1)

第4回　一次審査提出作品制作(2)

第5回　一次審査提出作品制作(3)

第6回　一次審査提出作品制作(4)

第7回　プレゼンテーション準備　一次審査に向けての資料作成

第8回　一次審査　プレゼンテーション

第9回　一次審査フィードバック　講評内容と今後の方向性の確認

第10回　最終審査提出作品制作(1)

第11回　最終審査提出作品制作(2)

第12回　最終審査提出作品制作(3)

第13回　最終審査提出作品制作(4)

第14回　最終審査提出作品制作(5)

第15回　最終審査　プレゼンテーション

■教科書:

■参考書:

■成績評価:　　出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 宮崎昭人 （非常勤講師）
実務経験: Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務（観光・ビジネス・科学・法務分野等）、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名 : **英語**

履修形態: 必修
授業形態: 講義
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標: 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画:

第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまわない感覚を磨く

第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味

第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ

第4回 品詞の理解：辞書の使い方

第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方

第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第7回 品詞別重要ポイント②：動詞（be動詞、一般動詞）、助動詞の使い方

第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例

第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方

第10回 翻訳：翻訳の種類（直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する）

第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得

第12回 自己紹介

第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン

第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現

第15回 まとめ

■教科書: プリント配布

■参考書: 辞書があれば望ましい

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点:

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **キャリアプランニングⅠ**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 自らのキャリア形成について主体的に取り組めるようにするため、キャリアデザインの概念およびデザイン業界の職種とその仕事に対する理解を深める。また、ビジネス能力検定ジョブパス3級受験に向けた学習を通して、職業観の醸成および社会人基礎力の向上を図る。

■到達目標:
1:デザイン業界の仕事およびそれをビジネスとしている企業のリサーチ方法を理解している。
2:デザイナー職とその関連職種について理解している。
3:ビジネス能力検定ジョブパス3級合格。

■授業計画:

第1回　キャリアと仕事へのアプローチ
第2回　ビジネスとコミュニケーションの基本①
第3回　ビジネスとコミュニケーションの基本②
第4回　ビジネスとコミュニケーションの基本③
第5回　ビジネスとコミュニケーションの基本④
第6回　仕事の実践とビジネスツール①
第7回　仕事の実践とビジネスツール②
第8回　仕事の実践とビジネスツール③
第9回　仕事の実践とビジネスツール④
第10回　業界研究①
第11回　業界研究②
第12回　業界研究③
第13回　就職活動の進め方と自己分析①
第14回　就職活動の進め方と自己分析②
第15回　就職活動の進め方と自己分析③

■教科書: ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト

■参考書: プレステップキャリアデザイン

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社の包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　:　キャリアプランニングⅡ

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: ２年次
開講学期: 通年
授業時数: ９０時間
単　　位: ３単位

■科目概要: 就職活動に際し自己をどのようにアピールしていくのが効果的か、具体的な方法を考察しながら、業界のプロとして仕事をする「職業人」となるために求められる要素を自覚するとともに、卒業後の生活設計を具体的にイメージし、ライフデザインプランを立案する。

■到達目標:
1:卒業後の具体的な生活設計を含めて、自立した社会人として働く自分をイメージできる。
2:効果的なセルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）を完成させる。
3:自身の特性を踏まえた業種・職種を絞り込み、具体的な目標として定めることができている。

■授業計画:

第1回　自己分析と企業研究①　自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ
第2回　自己分析と企業研究②　自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ
第3回　自己分析と企業研究③　現場で求められる要素の分析
第4回　自己分析と企業研究④　応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案
第5回　自己分析と企業研究⑤　応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案
第6回　ライフデザイン①　生活設計
第7回　ライフデザイン②　キャリアプラン
第8回　セルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）の制作①
第9回　セルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）の制作②
第10回　セルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）の制作③
第11回　セルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）の制作④
第12回　セルフプロモーションツール（ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等）の制作⑤
第13回　セルフプロモーションツールのブラッシュアップ①
第14回　セルフプロモーションツールのブラッシュアップ②
第15回　セルフプロモーションツールのブラッシュアップ③

■教科書:

■参考書: プレステップキャリアデザイン

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社の包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **職業実践演習**

履修形態: 必修
授業形態: 講義＋演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ６０時間
単　　位: ２単位

■科目概要: 自らのキャリアプラン（進路設計）を具体的に推進していくために必要なリサーチ力・プレゼンテーション力等の向上を図ると共に、インターンシップ・企業訪問・面接等の具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力を身に付け、希望する業種・職種への就職達成を目指す。

■到達目標: 1:複数の情報源を活用しながら求人情報を収集し、分析することができる。
2:インターンシップ等を含めた具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力が身に付いている。
3:希望する業種・職種への就職達成。

■授業計画:

第1回　情報源（求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等）の活用とリサーチ活動①

第2回　情報源（求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等）の活用とリサーチ活動②

第3回　ビジネスマナー演習と筆記試験対策①

第4回　ビジネスマナー演習と筆記試験対策②

第5回　インターンシップ事前対策①　手続きと心構え

第6回　インターンシップ事前対策②　知的財産権

第7回　書類選考（履歴書・エントリーシート等）対策①

第8回　書類選考（履歴書・エントリーシート等）対策②

第9回　コミュニケーション演習（面接対策等）①

第10回　コミュニケーション演習（面接対策等）②

第11回　ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習①

第12回　ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習②

第13回　ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習③

第14回　振返り（就職活動報告書）、改善点の洗い出しと対策

第15回　振返り（就職活動報告書）、改善点の洗い出しと対策

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **前期課題制作Ⅰ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　リサーチ
第2回　収集情報の分析
第3回　アイディア出し
第4回　アイディア出し
第5回　サムネイル制作
第6回　サムネイル制作
第7回　成果物チェック
第8回　実制作
第9回　実制作
第10回　実制作
第11回　実制作
第12回　実制作
第13回　ブラッシュアップ
第14回　プレゼンテーション・講評会
第15回　全体の振り返り・まとめ

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **前期課題制作Ⅱ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 前期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて
具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　リサーチ
第2回　収集情報の分析
第3回　アイディア出し
第4回　アイディア出し
第5回　サムネイル制作
第6回　サムネイル制作
第7回　成果物チェック
第8回　実制作
第9回　実制作
第10回　実制作
第11回　実制作
第12回　実制作
第13回　ブラッシュアップ
第14回　プレゼンテーション・講評会
第15回　全体の振り返り・まとめ

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **後期課題制作Ⅰ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: １年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび進級制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて
具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　リサーチ
第2回　収集情報の分析
第3回　アイディア出し
第4回　アイディア出し
第5回　サムネイル制作
第6回　サムネイル制作
第7回　成果物チェック
第8回　実制作
第9回　実制作
第10回　実制作
第11回　実制作
第12回　実制作
第13回　ブラッシュアップ
第14回　プレゼンテーション・講評会
第15回　全体の振り返り・まとめ

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点

対象学科: 産業デザイン学科
対象専攻: グラフィックデザイン専攻
担当教員: 長谷川　かおり、高橋　美絵　（専任教員）
実務経験: 長谷川:広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
高橋:大手印刷会社包装開発部門にディレクターとして勤務

科目名　: **後期課題制作Ⅱ**

履修形態: 必修
授業形態: 演習
履修学年: ２年次
開講学期: 後期
授業時数: ３０時間
単　　位: １単位

■科目概要: 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび卒業制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標: 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開し、社会へ発信する力を身に付ける。

■授業計画:

第1回　リサーチ
第2回　収集情報の分析
第3回　アイディア出し
第4回　アイディア出し
第5回　サムネイル制作
第6回　サムネイル制作
第7回　成果物チェック
第8回　実制作
第9回　実制作
第10回　実制作
第11回　実制作
第12回　実制作
第13回　ブラッシュアップ
第14回　プレゼンテーション・講評会
第15回　全体の振り返り・まとめ

■教科書:

■参考書:

■成績評価: 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目:

■履修上の留意点